

定年退職

学生の指導に尽力し、研究に情熱を注いでこられた教員15人が今春、定年退職を迎える。

※氏名、主な担当、主な役職、勤続年数

【経済学部】

内山 哲朗教授

「社会運動論」経済学部
長、20年

作間 逸雄教授



【経済学部】 42年

鈴木 章俊教授



【経済思想】 8年

村上 俊介教授



「現代市民社会論」社会科学
学研究所長、35年

【経営学部】

等原 伸一郎教授



「国際経営論」経営研究所
長、29年

川崎 誠教授



「日本語学」31年

【商学部】

上田 和勇教授

「リスクマネジメントと保
険」大学院商学研究科長、
キャンパス・ハラスメント
対策室長、体育部長、39年

高原 隆明教授



「生物科学」40年

【文学部】

大谷 正教授



「日本近代史」39年

坂野 明子教授

「英米・英語圏文学」図書
館長、26年

樋口 映美教授

「アメリカの種と政治」
文学部歴史学科長、18年

松下 知紀教授



「英米・英語圏文学」35年

【ネットワーク情報学部】

本江 渉准教授

「会計システム」41年

【国際コミュニケーション学部】

寺尾 格教授

「ヨーロッパの文化」外国
語教育研究室長、33年

【国際コミュニケーション学部】

野口 旭教授(33年)

【経営学部】

鈴木 祥平助教(2年)

【商学部】

孫維維助教(3年)

【文学部】

濱崎 加奈子准教授(8年)

福島 大我助教(1年)

山田 昭子助教(3年)

長野 智子特任教授(2年)

【法科大学院】

野村 秀敏教授

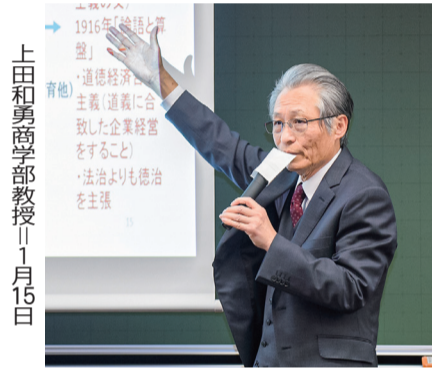


「民事訴訟法学」12年

依願退職・
任期満了

3月31日付
※カッコは在職年数

最終講義



上田和勇商学部教授11月15日



寺尾格国際コミュニケーション学部
教授=3月16日

東日本大震災から10年

学校法人専修大学理事長 日高 義博

東京で震度5強の地震が発生した時、神田6号館の理事長室にいました。創立者・田尻稲次郎先生揮毫の「土魂商才」の額が落ちそうなので両手で押さえ、テレビが台から落ちてきました。揺れがあと一分続くと6号館も危ないと思ったほどでした。

当日は、帰宅できない学生、教職員、一般の人など約700人が構内で一夜を過ごしました。千代田区との協定で非常食、飲料水等を学内に備蓄していましたが、助かりました。火災が起きたら、構内で夜を過ごすという学生たちをどう避難させるのかと案じながら、コ

トにくるまって理事長室で夜明けを待ったことを思い出します。

東日本大震災の被害は甚大でした。神田5号館、生田2・3号館は使用不能となり、建て直す必要が生じました。創立140年に向けたキャンパス計画を修正し、財政計画を練り直しました。専修大学140周年記念事業は、昨年、皆さまのご支援により完遂することができました。神田に竣工した140周年記念館は、コロナ禍にあっても十分に機能を発揮できない状態ですが、今後「一知の発信」の拠点となります。

東日本大震災に加え、コロナ禍の中において大学運営も非日常の連続です。難局に屈することなく、オール専修の力を結集し、本学の存続・発展を期す所存です。

BOSAIFAを開催

東日本大震災から10年の3月11日、神田キャンパス10号館1階広場で「第8回BOSAIFA」を開催し、消防士からの説明

を受けながら、重いホースを抱えて放水を行ったり、数人で組んでAEDの取り扱いを体験した。1階フロアでは学生部とSKV(専修神田ボラティア)が、東日本大震災発生直後の2011



AED体験に取り組み参加者



SKV企画を説明する只野代表

年4月から続けている宮城県石巻市などの活動を記録したパネルや防災グッズを展示した。

育友会が学生支援 新型コロナウイルス対策 新型コロナ対策

育友会が新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生支援を実施し、2月26日、新澤千佳子会長から、日高義博理事長、佐々木重人学長に目録が手渡された。写真。育友



税理士試験合格 卒業生へお願い

本学出身の会計士・税理士の会である専修大学会計人会(榎本恵一会長)では、2020年度税理士試験に合格した(一部科目合格も含む)卒業生の情報を求めています。

合格者の方は校友会事務局(☎03-3265-5757 E-mail: kyoukaikai@acc.senshu-u.ac.jp)までご連絡ください。

立場はちがって人も対等

体調をくずして仕事や授業を休んだり遅刻や早退をすることは、誰にでも起こります。自らの健康を管理し、休まず出勤・出席している人、現在も大学生のほとんどが若者で、は称赞にあたいしますが、健康上の理由で休むことは決して非難されるべきことではありません。中には、持病をかかえつつ努力して仕事や勉学にとりくんでいる人もいます。学

人の体調について、「どこが悪いのか」と具体的な説明を求めると、中には慎重でありたいものです。もちろん、何回も繰り返して休んでいる場合など、事情を知りたいということもあり、相手の状況について想像力を働かせることが、誰もが快適なキャンパスを実現するための第一歩といえるので、話せる範囲内で話してもらい、聞いたことは他

手自分よりも年長であってもその言葉を、その口調で発するかどうか、その態度をとるかどうか、という問いを念頭に置いてみる。もしも相手に対しては、いかに距離を保ち、相手の状況について想像力を働かせることが、誰もが快適なキャンパスを実現するための第一歩といえるので、話せる範囲内で話してもらい、聞いたことは他

対策室員・廣瀬 玲子)



専修大学・石巻専修大学「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」推進募金

皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。

詳細はQRコードから



専修大学募金局 TEL: 03-3265-3157 E-mail: bokin@acc.senshu-u.ac.jp